

令和4年度 学生による消費生活フェスタ実施報告書

- 1 趣 旨 大学生が地域等における消費者教育の担い手となるよう、学生の自主的な消費者活動を支援するとともに、大学間の交流を通じて消費者教育への理解を深めるため、消費者市民社会をテーマとして、学生による消費生活フェスタを開催します。
- 2 日 時 令和4年11月20日（日）12:30～15:30（受付：12:00）
- 3 会 場 新町キューブ1階グランパレ
〒030-0801 青森県青森市新町2丁目6-2 4
TEL：017-773-4422
- 4 主 催 青森県、大学生の消費者教育実践運営検討会議
- 5 共 催 青森県教育委員会、青森県金融広報委員会
- 6 後 援 東奥日報、陸奥新報、デーリー東北
- 7 対象者 高校生、大学生、教育関係者、消費者行政関係者、一般県民等80名程度
- 8 参加料 無料
- 9 参加者 94名（オンライン、アーカイブ含む）

令和4年度 大学生の消費者教育実践支援事業



学生による
消費生活
フェスタ



10概要

司会 中島愛華 鹿内春菜(明の星短期大学)
小川裕香子 小松結衣(弘大人文社会科学部)
平川愛理 金谷理利果(弘前大学教育学部)

司会進行

明の星短期大学 中島 愛華
鹿内 春菜
弘前大学人文社会科学部 小川 裕香子
学 部 小松 結衣
教育学部 金谷 理利果
平川 愛理



12:30【開会】

【挨拶】 大学生の消費者教育実践運営検討委員会

委員長 高橋史朗(八戸工業大学 教授)

「八戸工業大学の高橋と申します。本日はすごく天気が良くて多くの方にお集まりいただき主催者として大変嬉しく思っております。また本日のこのフェスタに多くの企業の方から後援をいただき厚く御礼申し上げます。

そしてなんといっても昨年と同様に佐藤講師にお越しいただき、ものすごく面白い話なので、是非楽しみにしていただければと思います。



消費に関する事柄って、やっぱり昨年も同じような事をお話したのですが、ホスピタリティってのがすごくあるなど、すごく取っ付きにくい、一方でこれは推奨されつつあるされなければならないという部分について少しだけお話ししたいと思います。

今、エジプトでコップ27があり、締約国会議、地球環境に関する会議が行われています。

私が子どもだった頃、地球の人口は45億人と習いました。この間80億人になりました。これほとんど倍ですね。人間が地球環境に及ぼす影響であるとか、そういうのが非常に甚大なものになりつつあるということが、この人口の増加というものが大きく影響していると思うんです。

私達は一体どうすればいいのか、この疑問を考えると、実は私たちが生産している全ての生産物、農業の生産物も、漁業も、工業も同じです。最終的には消費されるものです。消費行動

ってというのは私達が生産したりし、私達の地球との付き合い方、向き合い方に直結しているものではないかと思うのです。45億人の時代と100億人の時代では地球との付き合い方が変わってくるのは当然のことです。ひょっとしたら一人一人の努力というのは本当に小さな100億分の一かもしれない。ですが積み重なるとものすごく大きな力になる、ポイントは今ウクライナで戦争が起こって、物価が上がって円が上がって、また物価が上がってと繰り返されています。日々の暮らしの中で、一人一人が安い物を買おうとか良い物を買おうとか、ものすごく意識化されているように思うのです。

こういう意識、一人一人が消費活動というのを自分事であると思うことが何より大切で、やがて、それが地球の環境であったり、私達の未来であったりに作用するのではないかと考えます。

今、先程申し上げた通り、世界各国でインフレが起こっていて、消費に対する関心が高まっており、こういう時期であるからこそ私たちが消費生活を見つめ直すという意義が深く高くなっているのではないかと考えます。

今日は多くの学生が参加して「学生による消費生活フェスタ」ですから、若い人達の視点で、いったいどういった課題が私たちの消費生活にあるか、発表が行われます。その中で、ご参加いただいた私たち一人一人が、では今日からどうするのか、ここを出た瞬間から私達は消費者になるのですが、今この中で電力を消費していますから、こういったような私達が消費する事柄に関して自分はどうか関わっているのか、自分事として客観的に見るという視点が、このイベントをきっかけに皆様に更に深い物として、視点が深く高まってくれたらいいなと思います。多様な視点からの発表、皆さまには是非一つ一つ吟味しながら楽しんでいただけたらいいなと思います。」

本日は誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。」

12:40【講演】

「農業で持続可能な未来を〜アグリーンハートの挑戦〜」

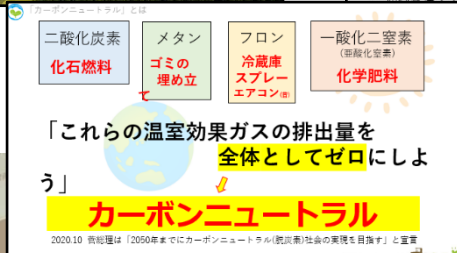
株式会社 アグリーンハート 代表 取締役 佐藤拓郎 氏



【自己紹介】

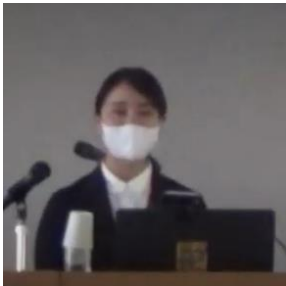
- ・シンガーソングライター
- ・黒石市観光大使
- ・青森県学校教育サポーター
- ・TVリポーター
- ・くろいし有機農業推進協議会 会長
- ・(一財)双仁会厚生看護専門学校 非常勤講師
- ・あおもりICT活用推進プラン検討懇話会 委員
- ・日本一健康な土づくり推進プラン検討委員
- ・青森県農産物推進推進委員
- ・青森県総合計画審議会 産産・雇用部門委員
- ・株式会社 アグリーンハート 代表取締役
- ・アローズン 代表取締役

佐藤拓郎：農音楽家 Takuron



13:45 【学生による活動報告】資料参照

テーマ	発表者	学 校
幼児向け消費者教育教材の実践	平川愛理	弘前大学教育学部
大学生に聞いた消費トラブルに関する調査報告 ～今後の消費教育について～	地代所美優、滝澤知里	八戸工業大学



**幼児向け消費者教育教材
の実践報告**
弘前大学教育学部家庭科教育学研究室
4年 金谷 理利果
3年 丸山 明日香
後藤 彩香
2年 平川 愛理
佐藤 志歩





あなたは200円
つかいました

ひろさき たろう
¥ 200

「見えないお金」
…ゲーム内では見えないが後から
払う必要がある
使いすぎてしまう危険がある





大学生に聞いた
消費トラブルに関する調査報告
～今後の消費教育について～
八戸工業大学 感性デザイン学部 感性デザイン学科
地代所 美優 滝澤 知里

詳細報告：成人年齢と引き下げ

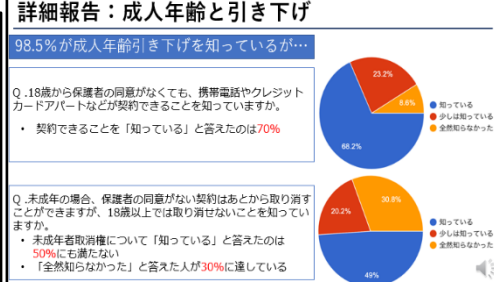
98.5%が成人年齢引き下げを知っているが…

Q.18歳から保護者の同意がなくても、携帯電話やクレジットカード・アパートなどが契約できることを知っていますか。

- 契約できることを「知っている」と答えたのは70%

Q.未成年の場合、保護者の同意がない契約はあとから取り消すことができますが、18歳以上では取り消せないことを知っていますか。

- 未成年者取消権について「知っている」と答えたのは50%にも満たない
- 「全然知らなかった」と答えた人が30%に達している



14:20 ポスター発表

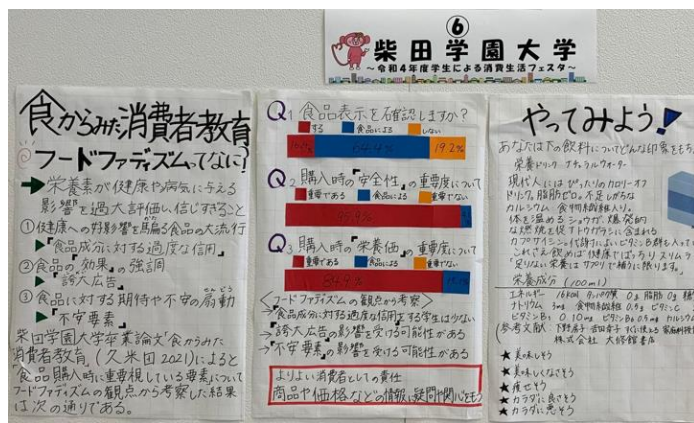


	テーマ	担当者	学 校
①	成人年齢の引き下げとそのトラブルについて	鈴木季奈	青森大学（むつ校）
②	親子で考える3R	中島愛華、鹿内春菜	明の星短期大学
③	中学校でのLGBTQの講座提案について	金谷理利果	弘前大学教育学部
④	男女間格差はどうやたらなくなるのか ～賃金格差をなくそう～	佐藤志歩	弘前大学教育学部
⑤	廃材を利用した染物～アップサイクル～	葛西末莉、木田実優、熊沢歩望	柴田学園大学
⑥	食からみた消費者教育	傳法谷日菜乃、内久保華野	柴田学園大学
⑦	成人年齢に引き下げに伴う 大学生の消費者トラブル調査	中村和人、滝沢未緒	八戸学院大学
⑧	SDGsに関する八戸学院大の取り組みについて	濱浦良野	八戸学院大学
⑨	豊田商事事件分析	柴田佑介	青森中央学院大学
⑩	大学生に聞いた消費トラブルに関する調査報告 ～今後の消費教育について～	地代所美優、滝澤知里	八戸工業大学

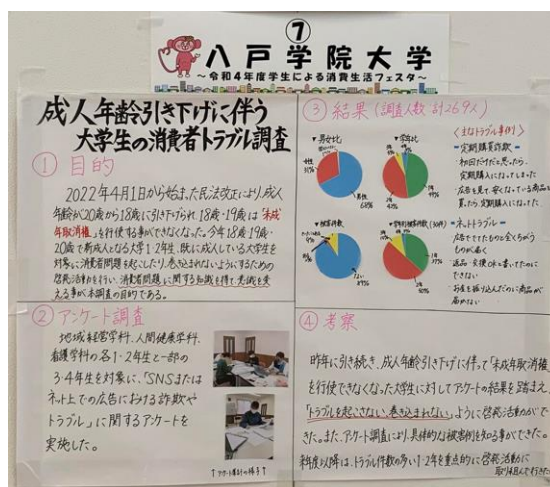
⑤


<https://youtu.be/ZmrUy459IEw>

⑥


<https://youtu.be/wl5IZ9S-L8E>

⑦


<https://youtu.be/ChRbFYwzwXA>

⑧


<https://youtu.be/P9LP4YUzF2o>



未来へのメッセージ

SDGsの番号

5

はっけり見えるようにマシクペンで大きく

○2030年とはどのような未来、どのような社会？

ジェンダーの両方が迷うことなく入れるトイレがあたり前にある未来。



○実現のためには何をします？

ジェンダーについて興味・関心を持ち、少しでも理解する機会を学ぶ。

未来へのメッセージ

SDGsの番号

4, 12

はっけり見えるようにマシクペンで大きく

○2030年とはどのような未来、どのような社会？

④ 質の高い教育が保証され、生産消費に対するリテラシーのある社会。

○実現のためには何をします？

④ ④ 学校教育の中で消費生活に対する知識や態度を指導する。

未来へのメッセージ

SDGsの番号

1, 12

はっけり見えるようにマシクペンで大きく

○2030年とはどのような未来、どのような社会？

⑫ 食品ロスをゼロに！

① 貧困改善

○実現のためには何をします？

・手前どりを。本当に必要な物だけメモしてから買いに行く！（衝動買いを減らす！）

・いらなくな、たけどまだ使えるような服や物は寄付する。

未来へのメッセージ

SDGsの番号

1, 12

はっけり見えるようにマシクペンで大きく

○2030年とはどのような未来、どのような社会？

⑫ 食品ロスをゼロに！

① 貧困改善

○実現のためには何をします？

・手前どりを。本当に必要な物だけメモしてから買いに行く！（衝動買いを減らす！）

・いらなくな、たけどまだ使えるような服や物は寄付する。

未来へのメッセージ

SDGsの番号

12

はっけり見えるようにマシクペンで大きく

○2030年とはどのような未来、どのような社会？

すべての製品が再利用可能となる生産活動をしてほしい。

○実現のためには何をします？

⑫ 再利用可能な商品を購入する。

【代表者による発表】

青森大学



SDGsは4番と8番、性別にとらわれない生活が出来る社会実現のためには人間の多様性を認める教育を小さい頃からさせる。既成の常識を壊していく。具体的にはとかおなべとかのタレントを採用させてテレビなどで出演させてこういう人がいるんだよと日常に刷り込ませる、そういう事によって差別は減ると思っています。

青森明の星短期大学

12番 食品ロゼロに

手前取りをすることと、これ安いから買っちゃおうというという衝動買いが多いので、本当に必要な物だけをメモして買いに行くことが今から出来るかなと考えます。



柴田学園大学

2番と12番 食品ロスをゼロにする

- ① 無駄が出ないように調理、
- ② 手前どりを
- ③ 地産地消をする



八戸学院大学

4 番 子供に対して平等に質の高い教育を与えられる社会を作ればなと思っています。

実現のためには、自分が今教育を学んでいて、将来教師になることが目標なので、まずは自分から教育の質にこだわって、子どもに対して、生徒に対して、平等にいろいろ教えられる教師になりたいと思っていますので、まず自分から取りくんでいきたいと思っています。



青森中央学院大学



9 番 10 番 東京一極集中の解消、地方都市の再活性化という社会になっていればいいなと思っています。

私自身地域の再活性化に関わる関連の仕事に就くことで私自身が尽力していきたいと思っています。

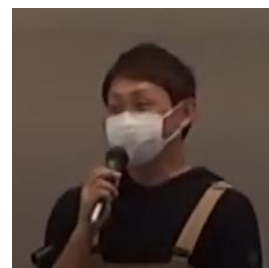
【本日の取り組みについて感想】

株式会社 アグリーンハート 代表取締役 佐藤拓郎 氏

今日は皆さんお疲れさまでした。私も普段、農業やっていて、SDGs は 17 の開発目標と 169 のターゲットがあります。農業というのは、その 17 のうちの 12, 13、ほとんどの影響すると思っています。

あらゆる視点をもって、現在も県の委員とかをしていて、来年からは国の審議会の委員とかも務めるのですが、普段僕が持っていない学生の皆さんの視点と解釈など、ものすごく今日勉強をさせてもらいました、僕はもうこの情報はここだけだともったいないので、みんないろんな人に知って欲しいなと思いました。

去年も素晴らしい取り組みをされていると感じたのですが、あらためて今年も感じさせてもらったしだいです。皆さんの未来、SDGs。皆さんそのものが地域の未来なので、ぜひともこのまま地域に興味を持って、自分たちができるところに楽しく向き合えるような、そんな生活をこれからも送ってください、ということで挨拶とさせていただきます。今日は本当にありがとうございます。お疲れ様でした。



【テルミーダンス】



【閉会】

